

関西 EAC 第514回例会：設計技術<工場見学>のご案内

■ テーマ 設計技術

■ 日時 2024年4月5日(金)13:00~17:00

■ 場所

新明和工業株式会社 航空機事業部 甲南工場

〒658-0027 神戸市東灘区青木1-1-1

■ 会場参加:定員30名 ※会場は定員に達したため締切りました

■ オンライン参加:定員70名 ※締切りました

Zoomのインビテーションはログイン後に欠入力すると、最下部の「イベント回答者用情報エリア」に表示されます。

■ 交通手段

阪神青木駅より徒歩約10分

[地図はこちら](#)

■ 備考

■ お問い合わせは 関西設計管理研究会 事務局長 河添 俊幸 宛 [コンタクトフォーム](#)から問い合わせください。

スケジュール

13:25~13:40	【事務局案内】 事務局長 河添 俊幸氏 【会長挨拶】 株式会社LIXIL 垂水 伸輔 氏
13:40~14:30	【研究発表】(Zoom配信あります) 『ちょうどいいシステムズエンジニアリングを活用するには』 大阪公立大学 工学研究科 航空宇宙工学分野 教授 小木 曾 望 氏 システムズエンジニアリング(SE), モデルベースシステムズエンジニアリング(MBSE)が着目されている一方で、「とっつきにくい」、「難しい」という言葉もよく聞かれる。そこで、私が顧問を務めている株式会社レヴィが提唱する「ちょうどいいSE」を紹介する。これは、メンバーが建設的な議論を通して合意形成をする過程でのコラボレーションを促進することで、「とっつきにくさ」を避ける考え方である。また、そのような設計過程を実現するために、本質を見抜くためのBack of the envelope(封筒裏の計算)の重要性を紹介する。
14:30~14:45	質疑応答
14:45~15:00	次回例会案内・休憩
15:00~15:30	第1部:会社概要説明(30分)(Zoom配信あります) ▷弊社の歴史や事業内容等をご説明致します。 【新明和工業株式会社のご紹介】 弊社は創業者 川西 清兵衛が1920年に創設した「川西機械製作所」をスタートとし、同年より航空機を製造してきた歴史をもちます。1928年に一部署であった飛行機部が「川西航空機株式会社」として独立し、1945年の終戦まで「二式大型飛行艇」や局地戦闘機「紫電改」等多数の航空機を生み出しました。 戦後、GHQによる航空機製造の禁止や財閥解体により事業継続が難しい状況にありましたが、航空機製造で培った技術と技能を活かし、生活用品などの製造を開始し、会社を存続させました。以降、戦後復興や高度経済成長と時代を経るにつれて、その時々で必要とされる製品の開発や事業の拡大を通じ、現在は「産業機械」「流体機器」「機械式立体駐車場」「特装車」「航空機」といった5つの事業を軸にモノづくりを通して、社会と人々の生活を支えています。 参考URL: #甲南工場 連載 US-2ができるまで
15:30~16:30	第2部:工場見学(60分) (ここよりZoom配信はありません) ▷防衛省向け航空機(US-2型救難飛行艇)の製造・整備エリアやその他自衛隊機のコンポーネント製造エリアのご見学及び民間旅客機コンポーネントの製造エリアのご見学を頂きます。また、航空機部品の板金加工エリアや飛行艇を海に下ろす為のエリア等のご見学も頂く予定です。
16:30~16:45	質疑応答
16:45~17:00	集合写真・片付け
17:30~19:30	【懇親会】 (送迎バスで移動) 神戸酒心館さかばやし 〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町1-8-17